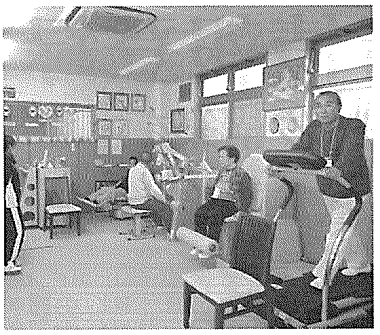
# 話題のホーム探訪

## 渋谷館

### 運動理論基づく最新マシン採用

### リハビリ専門デイ開設

### 元体育講師が指導



▲「リハトレーナー」でのリハビリの様子

今年の2月、東京都足立区内にリハビリ型デイサービス渋谷館を開設したのは帝京大学で体育講師と柔道部の監督をしていたこともあるSHIBUYA（同所）の渋谷恒男社長だ。

「この施設を開設する前はここで柔道道場と整骨院を開いていましたが、高齢者の元気が無くなっていることがずっと気になっていました。確かな運動理論に基づき、その人に合った負荷を自動調整するマシンの存在を知り、これで高齢者を元気に出来ると思いました」（渋谷社長）

渋谷恒男社長

体力測定学等を専門に学び、従来のリハビリの効果に疑問を感じていた渋谷社長は筋力トレーニングマシン「リハトレーナー」と出会い、この施設開設を決めたという。

このマシンは、サロンオールディーズ（東京都中央区）が開発した運動マシンで旧東京都老人総合研究所（現東京都健康長寿医療センター）が提唱する運動プログラム（CGT）を基にしたシステムが内蔵されており、職員による運動記録やマシンの負荷調整が不要だ。使用者にとって一番効果的な負荷を自動調整してくれる4種類のマシンを使ってのリハビリトレーニングが出来る。

開設してまだ3ヶ月程だが、早速効果が現れている入居者もいる。片麻痺で腕の稼働率が10%程だった男性が30%動くようになったという。体が動くようになったことが自信にもなり、家族から「本当に人が変わった。明るくなった」と喜ばれている。長年アスリートの指導を行ってきた渋谷社長は高齢者のモチベーションを上げるのが上手く、一流アスリートが行っているトレーニング方法を取り入れ、利用者に自信を持たせ、楽しくリハビリを続けることを可能にしている。

また、長年、柔道道場として地域に密着してきたこの施設では、地域とのつながりが深い。デイサービスの利用者に戦争体験を話してもらう会を地域の子供達に向けて開催して、その感想文を子供たちに書かせたりしている。また、近所の相撲部屋から力士が遊びにくることもあり、相撲好きな利用者に喜ばれている。

＜ホーム概要＞

| | |
|---|---|
| 名　称 | 渋谷館 |
| 施設類型 | デイサービス |
| 定　員 | 10名 |
| 事業主体 | SHIBUYA |
| 住　所 | 東京都足立区舎人 |

## ばらの庄

### 施設環境配慮 満床常に保つ

### 入口に手作りのバラの庭園

▲エントランス前のバラの庭園

介護付有料老人ホームばらの庄（神奈川県川崎市）は、名前の通り、エントランス前に小島久雄社長自ら手入れをするバラの庭園が広がっている。歩いて1分の場所に大手の介護付有料老人ホームがある激戦区にも関わらず、満床を保っているという。

「5月になるとバラが満開になります。入居者も開花が楽しみで毎日のように様子を見に来る人も居ます」（小島社長）

バラ庭園だけでなく、館内の至る所に植物や絵画が飾られ、寛げる空間作りがなされている。この施設では、ユニットケアを採用しており、認知症のフロアになっている2階にも大小様々な絵画が展示してある。

認知症のフロアには異食行為を避ける為、掲示や飾り付をしないという施設もあるが、ここでは、そのような行為は一切無いという。また、3階の屋上庭園では、落ちつくという入居者が多く、今後絵を眺めることでケアにも役立っているという。巨峰やスイカが収穫でき、施設にいながら葡萄狩りも楽しめる。

### 光庭で認知症ケア

▲光庭では金魚が飼われている

全ての部屋に窓が配置されるように設計しているので、部屋に窓をつけることが出来ない中央部分には部屋を作らず、光庭を配置した。これにより、館内全体に陽光が射し、明るくなっている。以前は木が植えられていただけだった光庭で金魚を飼うようにした所、入居者も足を止めるようになったそうだ。認知症が多い2階からこの庭がよく見える為、認知症の入居者が動くものを見ることでケアにも役立っている。

植物が多く、施設の環境がいいことは入居者だけでなく、職員にもよい影響を与えているようで、定年や引越し等の止むを得ない事情以外で辞める職員は全くいないという。

こうした施設環境の配慮について小島社長は次のように語る。

「いくらレクをやっても毎日だと飽きてしまいます。また人には個人差があり、楽しめるものは人それぞれ違います。全ての人に合わせるのは困難で、人が提供するソフトの部分には、どうしても限界があると思います。限られた空間にいる中で飽きないで毎日を過ごすには、日々変化する植物がたくさんあることが良いと考えました。バラだけでなく、常に花が咲いている庭園になるようにしています」

＜ホーム概要＞

| | |
|---|---|
| 名　称 | ばらの庄 |
| 施設類型 | 介護付有料老人ホーム |
| 総居室数 | 44室 |
| 事業主体 | ばらの庄 |
| 住　所 | 神奈川県川崎市多摩区西生田 |

## サンスーシ北浦和

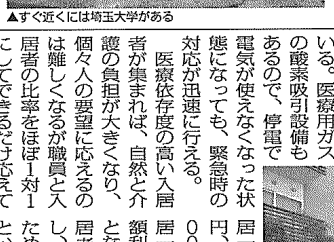
### 食事を重要視 個別対応充実

### 外出支援にも注力

秋間義一施設長

誠愛苑（埼玉県さいたま市）は3年前に介護付有料老人ホームサンスーシ北浦和（埼玉県さいたま市）を開設した。同施設では、食事を一番大切に考えてサービスを行っているという。

「お風呂が嫌いな人はいても食事が嫌いな人はいません。一人一人の好き嫌いに合わせてメニューも柔軟に変更します。入居者の方の嫌いなものをあらかじめ聞いておき、例えば、麺が嫌いな方には焼きそばを野菜炒めとごはんといった形にして提供しています。家族なら食べたく無いものは出さないではずです。私たちは家族だったらどうするかという立場に立って、サービスを考えています」（秋間義一施設長）



▲すぐ近くには埼玉大学がある

食事は入居者の家族にも好評で、毎月行われる誕生会には、毎回20名程の家族が同社の食事を楽しみに参加するという。

また、どのような状態でもなるべく食事を楽しめるように、管理栄養士による個別の食事相談会を随時行っている。「糖尿食でも美味しく食べたい」等の相談が多く、出来る限り希望に添えるよう食事を工夫しているという。

昨年以降は食事以外にも緑豊かな周辺環境を活かし、外出支援に力を入れている。

「近隣の公園や区役所内のレストランへ出かけたりしています。動物愛護センターで行われた動物に触れ合えるフェスティバルに参加してアニマルセラピーを行いました。動物達と触れ合うことで精神的な健康を保てるのではないかと考えています。今後も食事や外出支援に力を入れていきます」（秋間施設長）

＜ホーム概要＞

| | |
|---|---|
| 名　称 | サンスーシ北浦和 |
| 施設類型 | 介護付有料老人ホーム |
| 総居室数 | 69室 |
| 事業主体 | 誠愛苑 |
| 住　所 | 埼玉県さいたま市桜区下大久保 |

## クローバーガーデン

### クリニック併設 高度な医療提供

### 全室に酸素吸引設備完備

### レスパイト需要高まる

佐藤昭仁施設長

全室に医療用ガスで動く酸素吸引設備のある介護付有料老人ホームクローバーガーデン（神奈川県藤沢市）は高度な医療と一人一人の要望を最大限に応えるサービスの両立を目指している。建物内にはクローバークリニックが併設されており、入居者への回診は日曜日以外はほぼ毎日ある。気管切開や経管栄養が必要な入居者にも対応している。医療用ガスの酸素吸引設備もあるので、停電で電気が使えなくなった状態になっても、緊急時の対応が迅速に行える。

医療依存度の高い入居者が集まれば、自然と介護の負担が大きくなり、個々人の要望に応えるのは難しくなるが職員と入居者の比率をほぼ1対1にしてできるだけ応えているという。

「認知症の方が家に帰りたいといえば一緒に車で行き、長い時はそこで半日付き添う事もあります。認知症の場合はそうした行為が私達の信頼につながります。ここまで出来るのも入居定員が30名と小規模だからです」（佐藤昭仁施設長）

しかし、小規模な施設で、医療依存度が高い入居者の受け入れをするには、料金設定を高めにしないと採算がとれない。高い料金設定をする以上はそれに見合うサービスを行いたいというのが佐藤施設長の考え方だという。

同施設の料金体系は終身契約と1年契約の2通りがあり、終身契約の入居一時金は、2420万円、月額利用料24万7800円で、1年契約は入居一時金525万円、月額利用料26万1100円となっている。多くの入居者は1年契約を選択し、その間に終身契約のための入居金を用意するという。

▲川沿に建つ施設

またこちらの施設では、介護保険外のショートステイを長期利用して、そのまま入居というケースも多い。最近では、レスパイトの為のショートステイ需要が高まっているという。

「今後はショートステイの需要に積極的に応えていくとともに、看取りにも力を入れていく方針です」（佐藤施設長）

＜ホーム概要＞

| | |
|---|---|
| 名　称 | クローバーガーデン |
| 施設類型 | 介護付有料老人ホーム |
| 総居室数 | 30室 |
| 事業主体 | クローバーガーデン |
| 住　所 | 神奈川県藤沢市片瀬 |